

# 國際法外交雜誌

第 二 十 六 卷 第 一 號

昭和二年一月一日發行

## 論 說

明治二十七八年の戦役とドイツ外交

法學博士 立 作 太 郎

基本權に就て

法學博士 松 原 一 雄

ロカルノ主義とパン・ヨーロッパ主義の異同論

法學士 神 川 彦 松

## 研 究

第十九世紀に於ける米國の移民政策の由來と日本移民(一)

法學博士 和 田 禎 純

汎亞米利加(二・完)

法學士 永 富 守 之 助

## 時 論

米國の國際司法裁判所參加問題

法學博士 松 原 一 雄

# 國際法外交雜誌

第 二 卷 第 二 號

昭和二年二月一日發行

論 說

全米國際法典案を評す

法學博士 泉 哲

明治二十七八年の戰役とドイツ外交(二)

法學博士 立 作太郎

研 究

ラムゼイ・マクドナルドの對露政策

法學士 園地與四松

時 論

加奈陀公使の新任

法學博士 米 田 實

紹 介

國際法より見たる幕末外交物語を讀みて

法學博士 立 作太郎

資 料

第一、聯盟規約第四條改正議定書

法學博士 松 原 一 雄

第二、外國人土地法施行期日の件

第三、一九一九年十月十三日ノ航空法規ニ關スル條約第五條ノ

修正ニ關スル議定書

第四、一九一九年十月十三日ノ航空法規ニ關スル條約第三十四

條ノ修正ニ關スル議定書

# 國際法外交雜誌

第 二 十 六 卷 第 三 號

昭和二年三月一日發行

## 論 說

國家は鎖國の權利を有するや

法學博士 松原一雄

日英同盟の印度條項

法學士 高橋清一

明治二十七八年の戰役とドイツ外交(三・完)

法學博士 立作太郎

## 研 究

日英同盟の史的考察

法學博士 信夫淳平

第十九世紀に於ける米國の移民政策の由

來と日本移民(三)

ドクトル・オプ・フイロソフキール 和田禎純

## 國際法問答

二十四時間規則に關する問答

法學博士 立作太郎

## 紹 介

Répertoire général des Traités et autres Actes diplomatiques

conclus depuis 1891 jusqu'en 1920.

オツペンハイム國際法(第二卷)第四版の新刊

# 國際法外交雜誌

第 二 十 六 卷 第 四 號

昭 和 二 年 四 月 一 日 發 行

世界大戰の際の所謂海洋の自由の主張の起原  
「ソヴェエト」露西亞に於ける外國人の法律上の  
地位並に法律の抵觸に就て

研 究

法學博士 立 作 太 郎

法 學 士 江 川 英 文

日英同盟の史的考察(二)

法學博士 信 夫 淳 平

第十九世紀に於ける米國の移民政策の由來と

日本移民(四・完)

ドクトル、オブ、  
フイロソフキ、 和 田 禎 純

時 論

米國の軍備制限會議提唱事情

法學博士 米 田 實

紹 介

Dr. Frhrn. v. Freytagh-Loringhoven, Die Satzung des

Völkerbundes, Berlin 1926.

James Wilford Garner, Prize Law during the World

War, New York 1927.

資 料

米國の軍縮會議に關する覺書

# 國際法外交雜誌

第 二 十 六 卷      第 五 號

昭和二年五月一日發行

論 說

國際紛争の平和的處理に關する新傾向

法學博士 松原一雄

國際私法に於ける法律關係の性質決定

法學士 江川英文

研 究

日英同盟の史的考察(三)

法學博士 信夫淳平

ラムゼイ・マクドナルドの對露政策(二)

法學士 田地與四松

國際法問答

外交使節の特權に關する問答

法學博士 立作太郎

時 論

✓米國の軍備制限會議提唱事情(下)

法學博士 米田實

# 國際法外交雜誌

第二十六卷 第六號

昭和二年七月一日發行

論 說

國際法の本质を論ず

法學士 菊地 駒 次

領海問題に就いて

マスター・オブ・アーツ 森 權 吉

研 究

獨逸の膠州灣、露國の旅順大連及英國の威海衛獲得事情

法學士 永富守之助

日英同盟の史的考察(四)

法學博士 信 夫 淳 平

ラムゼイ・マクドナルドの對露政策(三)

法學士 圓地與四松

國際法問答

外交使節の特權に関する問答(二完)

法學博士 立 作 太 郎

紹 介

Adriaan Stoop, Analyse de la Notion du Droit. La Haye. 1927.

Manley. O. Hudson, The Prospect for International Law in Twentieth Century.

# 國際法外交文雜誌

第 二 十 六 卷      第 七 號

昭 和 二 年 九 月 一 日 發 行

在外臣民保護權の性質及作用

法學博士 松原一雄

國際法學の研究方法について

九大教授 大澤章

「ソヴェエト」露西亞に於ける外國人の地位並びに法律の抵觸に就て(二・完)

法學士 江川英文

## 研 究

航空機の交戦權に就ての一研究

文學士 檜崎敏雄

日英同盟の史的考察(五・完)

法學博士 信夫淳平

ラムゼイ・マクドナルドの對露政策(四・完)

法學士 圓地與四松

## 紹 介

H. Lauterpacht, Private Law Sources and Analogies of International

Law. 1927 London. Longmans, Green and Co. Ltd.

# 國際法外交雜誌

第 二 十 六 卷      第 八 號

昭 和 二 年 十 月 一 日 發 行

化學戰と國際法

法學博士 松原一雄

君府海峽の通航制度を論ず

法學士 芦田均

國際法學の研究方法について(二)

九大教授 大澤章

研 究

印度北西境蕃界の重要性

法學士 高橋清一

獨逸の膠州灣、露國の旅順大連及英國の威海衛獲得事情(二完)

法學士 永富守之助

時 論

サグルル・バーシアの死去と英埃關係

法學博士 米田實

紹 介

松原博士『外交及外交史の研究』

“Foreign Rights and Interests in China”, by W.W. Willoughby, in two volumes, second edition, 1927.

Dr. Hackwitz, Die Neutralität im Luftkriegsrecht, 1927.

# 國際法外交雜誌

第 二 十 六 卷 第 九 號

昭 和 二 年 十 一 月 一 日 發 行

## 論 說

イギリス王室の外交上の活動

法學博士 立 作 太 郎

土地に關する國家の國際的權利義務の種々相

法學博士 松 原 一 雄

國際法學の研究方法について(三)

九大教授 大 澤 章

## 研 究

遼東還附に關する三國干涉の事歴

法學博士 信 夫 淳 平

航空機の交戦權に就ての一研究

文學士 檜 崎 敏 雄

## 時 論

ザグルル・パーシアの死去と英埃關係(二)

法學博士 米 田 實

## 紹 介

Dr. Alfred Verdross, Die Verfassung der Völkerrechtsgemeinschaft, Wien

und Berlin, Verlag von Julius Springer, 1926.

# 國際法外交雜誌

第 二 十 六 卷      第 十 號

昭 和 二 年 十 二 月 一 日 發 行

## 論 說

敵貨と戰時禁制品

法學博士 松原一雄

イギリス王室の外交上の活動(一)

法學博士 立作太郎

國際法學の研究方法について(四・完)

九大教授 大澤章

## 研 究

ロータス號事件

法學士 青木節一

## 時 論

ザグルル・パーシアの死去と英埃關係(三・完)

法學博士 米田實

## 雜 錄

アントアーム・ビエ教授の訃

法學士 江川英文

## 紹 介

The Doctrine of Continuous Voyage, by Herbert Whittaker Briggs, ph. d.  
(1926).

Éléments du Droit International Public, Universel, Européen et Américain,  
par Karl Strupp, Professeur à l'Université de Francfort-sur-le-Mein, 1927.